

6月議会補正予算

市民の切実な願い優先に!

海外視察700万円

財政がきびしい時、
またも無駄な海外視察

6月議会で、議員派遣の議案が提案されました。全国市議会議長会主催ヨーロッパ1人(自民党議員)、豪州3人(社民議員)、米国3

人(自民議員)が参加することに、日本共産党以外が賛成。この予算は、総額で700万円です。不況のなか財政も大変であり、市民生活がきびしいとき、海外視察は中止すべきです。日本共産党は、海外視察より市民のために使うべきだと主張しています。

大分市は、6月議会に一般会計補正予算、30億5千万円を計上しました。その内容は、小中学校耐震補強の前倒しなどありますが、一方、大分駅南土地画整理事業など従来

型の大型事業に投入されています。市民からは、「国保税が高くて払えない、分割して納めることはできないか」など、多くの相談が寄せられています。国保税の値下げや、廃止された生活保護母子加算の半分でも支援できるように、切実な市民の願いをかなえる温かい大分市政が求められているのではないのでしょうか。



国保税の値下げ、減免制度の拡充を求める市民のみなさん

新型インフルエンザ対策に関する緊急申し入れ

さる5月28日、日本共産党大分市議団は大分市長に対し、新型インフルエンザ対策について、以下の申し入れをおこないました。

- 1、新型インフルエンザへの対応について、市民へ周知徹底し、安心して相談、受診できる環境を整備すること。
- 2、発熱や急性呼吸器症状等、新型インフルエンザへの感染が疑われる人が医療機関を受診し、医療費の一部負担の支払いが困難な場合には、自治体が独自に助成し、一部負担金を免除すること。
- 3、資格証明書発行世帯には、速やかに国保証を発行し、発熱などのさい、いつでも受診できるようにすること。



申し入れる党議員団

○対応した磯崎副市長は「24時間体制で対応している。申し入れの内容は検討したい」と応えました。

国保税が高すぎて払えない!
何とかならないでしょうか。



こんにちは 日本共産党 大分市議団です

大分市荷揚町2番31号 市議会日本共産党控室
電話 537-5695 (直通)
Eメール: occ-jcp@oct-net.ne.jp
http://www.jcp-oitasigidan.com/
2009年6月議会報告

教育費削減の 市立幼稚園の統廃合は許されない!

市立幼稚園 「10年間で10園程度 廃園する」

策定中の「大分市幼児教育振興計画」素案が発表されました。市教育委員会は8月ごろに決定したいとの方針です。

これによれば、廃園対象は、単学級(30人)が2年連続した後、再度単学級となった場合、一中学校区内に市立幼稚園が複数ある場合、その一部のいずれかにあたる園が統廃合の検討対象になるとしています。5月1日現在、具体的な単学級園の対象とされている幼稚園は、南大分、森岡、東大分、三佐、戸次、植田、敷戸、丹生、こうざき、大志生木、佐賀関、野津原中央、野津原西部、今市が上げられています。

「行政改革」の犠牲を、子どもたちに向けることは許されない
これまで、平成12年から

20年の間に、大分幼稚園から大道幼稚園にいたる8園の廃園が強行されてきました。その手法は、事前説明は不十分で、保護者をはじめ自治会など関係者の納得と合意のない強引なやり方でした。廃園基準についても、地域バランスを考えたとしていますが、整合性がなく、まったく合理的な説明を欠いたもので、「廃園さき」の説得力の低いものでした。さらに財政効率一辺倒で「行革」の犠牲を子どもたちに向けてきたものです。こうして廃園がすすめられた地域では、地域コミュニティの希薄化に拍車をかけています。また通園の財政的負担、交通安全対策などの諸問題も切実となっています。「行政改革」の犠牲を子どもたちに向けることは許されません。日本共産党は、幼児教育のあり方について、幅広い



申し入れる党議員団

市民・関係者のご意見をお聞きしながら、取り組みを強めます。
市立幼稚園の統廃合(適正配置)に関する緊急申し入れ
6月9日、日本共産党大分市議団、足立一馬教育長に対し、市立幼稚園の統廃合(適正配置)に関し、「大分市立幼稚園の新たな統廃合計画は、ただちに中止すること」を申し入れました。

市民との共同で要求が前進

大分川土手の照明が実現
6月議会補正で、以前より要望の強かった舞鶴橋から滝尾橋の間の照明灯が実現します。歩行者・自転車等の照明灯として、高さ1メートルの足元照明灯を15メートル間隔で設置が決まりました。
公園トイレは洋式化を拡大へ
市の公園のトイレについて、洋式トイレの取替えについて要求。洋式トイレの設置を基本とした多目的トイレに取り替える予定と答弁。
児童育成クラブの充実へ
児童育成クラブの充実を多くの人達が望んでいます。市の姿勢については、「育成クラブの育成環境の改善、充実に向けて取り組みを行なって参りたい」と前向きな答弁。

夏の職員の一時金カット
社民も賛成!!
職員の3億円の支給カットは、市内の地域経済にもマイナスの影響があると市当局も答えています。

北朝鮮の核実験に
抗議の意見書
わが党は、意見書を議会に提案しました。議会運営委員会では、自民、公明が反対し、意見書は提出できませんでした。



地球温暖化対策の強化を

広次 忠彦 議員

麻生首相が発表した温室効果ガス排出量削減の中期目標は、2005年比で15%、国際基準の1990年比で、わずか8%です。いま重要なことは、日本の温暖化対策重点を大口排出事業所におき、30%以上削減する中期目標と、それを実現するための制度導入などを急ぐ必要があります。また市内の大口排出事業者の努力義務の履行や、協定改定を待たずに努力義務の設定を求めました。

環境部長は「国の中期目標達成にむけた各種施策の動向を注視していく」「協定改定時に温暖化対策の規定を加える、改定の機会のない企業には約諾書をもらうことをすすめている」と答弁しました。

■学力テスト公表は中止を
全国学力テストの結果を、大分市は公表していません。『大分市教育

ビジョン』に学力テストで、全国を100としたとき2011年に104などの目標値は、真の学力向上ではなく、正答率をあげるための指導が強化されるおそれがあり、公表は中止すべきです。

教育監は「目標値は、あくまで努力目標であり、過重な負担や、過度な競争を持ち込んだりするものではない。単に正答率をあげるための偏った指導は、今後とも行なわれないと考える」と答弁しました。



大企業からの排出削減を

◆◆◆6月議会一般質問より◆◆◆



ゴミ収集 有料化は待った！ かわのひろこ 議員

市長は、前回市長選で発表したマニフェスト(選挙公約)の進捗よく状況について、「総じて順調に推移している。残された2年間は私立幼稚園の適正配置やごみ収集の有料化、老朽化した施設の改修などの課題に一定の方向を出したい」と記者会見で発表しています。

平成19年2月、大分市ごみに関する市民意識調査を行っています。その結果でも、「ごみの有料化に関



リサイクルプラザ

する意向」に関しては、非常に反響が大きく、「賛成である」、「どちらかというと賛成である」あわせて1001人で、22・4%ですが、「どちらかというと反対である」、「反対である」が2235人で、49・9%と、賛成意見の2倍を超え上回る結果となっています。

環境部長は、「ごみの総量規制をするためには、市民のごみ減量化意識を高めることも必要であり、1つの手段として、ごみの有料化も一案ではないか…。指定ごみ袋の導入とその有料化にかかわる今後の進め方としては、家庭ごみの12分別の成果を十分検討し、ごみ処理にかかる経費などを市民にお知らせするとともに、指定ごみ袋の導入と有料制について検討するため、本年度は、ごみ減量・リサイクルに関する市民意識調査とを実施する」と答弁しました。



後期高齢者医療制度 廃止以外にない

福間 健治 議員

私はこの問題については、毎回一般質問でとりあげてきました。当初の執行部の答弁は「同制度のすみやかな導入と定着」というものでしたが、先の3月市議会での私の代表質問で、市長は、「今後の国の論議を通じて、早期に国民各世代間の納得と共感の得られる仕組みが構築されるよう、その動向を注視してまいりたい」と答弁されています。高齢者も若い人も各階層の納得と共感の得られる制度とはどのようなものだと考えているのか。市長の見解を求めます。

市民部長は「国は、低所得者への保険料軽減、年金天引きの条件緩和の改善を求めている」「特に、高齢者医療制度の見直しに関する基本的な考え方を示し、現在制度見直しがおこなわれている」「国民各世代の信頼と共感得られる制度への抜本見直しが求めら

れているので、今後の国レベルでの議論の動向を注視していく」との答弁にとどまりました。その他、福間議員は、介護保険制度10年目の評価と改善策、新型インフルエンザ対策、雇用とセーフティーネット、商業地域の日照権保障について、質問しました。



介護保険の改善を求める市民のみなさん(6月25日)



児童育成クラブの 改善を 大久保 八太 議員

児童育成クラブの歴史は古く、市民の切実な要求であり、国も市も施策を行なってきた。しかし長い歴史はありますが、その施策は今でも不十分です。特にいま、深刻な不況のなか、共働き家庭が増えると同時に、子育て支援策として欠かすことができない重要な施策です。ある主婦は「児童育成クラブ

環境の改善・充実にむけて取り組みを行なって参りたい」などと答弁。一定の改善方向がみられると思います。また、大久保議員は、行政改革について、福祉や教育の切捨てや、市職員の賃金カットは、これ以上行なうべきでないときびしく追求しました。

児童育成クラブの充実を多くの人が望んでいることを紹介し、市としての基本的な見解をただししました。また、児童育成クラブ室が非常に狭くて困っているが、もっとゆとりのある部屋にするべき、指導員の待遇改善、保護者負担の軽減のため、市の補助金を増やすべきだと質問しました。



児童育成クラブのようす